

【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 26 年 12 月 2 日（火）

地区 佐八小学校区

会場 佐八小学校 1 階教室

参加者数 15 人



《質問・意見》

佐八学区まちづくりの会を立ち上げて3年目になるが、まちづくりに対して期待するところは何か。

《回答》【市長】

佐八の観光資源としては「かんこおどり」がありますが、地域それぞれの観光資源を活性化した形でのまちの魅力づくりと、地域の見守り活動等の子育て支援につながるような活動があれば、一緒に協力して考えていきたい。

《質問・意見》

中心部の観光客増加に関係無い佐八のような地方の地域を、どのように考えているか。

《回答》【市長】

その地域にあったまちづくりに一緒に取り組んでいきたい。その地域に根ざしたものを活用して、どんなまちづくりをしていくかが大事だと考えています。

《質問・意見》

学校の統合が問題となっているが、子ども未来会議などの方面に支障は無いか。

《回答》【市長】

学校の統廃合については少子化により順次進めさせてもらっています。

《質問・意見》

学校の統廃合について事情は分かるが、通学が遠くなるとか地元の学校が無くなるとか

について、バックアップの説明が途切れている。「何で」とか「今後どうなるんだろう」という気持ちがある。その辺のフォローをもっと行政にしてもらいたい。

《回答》【市長】

通学についてはスクールバスで対応していきたい。学校の跡地利用については、地域にとって一番良いのが何であるのかみんなで議論していきたい。そのためのチームを立ち上げて議論する準備をしていきたいと思っています。

《質問・意見》

佐八小学校の合併について、なぜわざわざ標高の低い中島小学校に統合されるのか。沼木の方ではだめなのか。このような問題は初めから地域に密着して十分な話し合いをしてほしいと前から言っているのに、中学校のときもほとんど説明が無かった。地元の役員の方のおかげで今の学校がある。その辺りのいきさつを市役所は分かっているのか。合併自体は仕方の無いことだと思うが、学校が無くなることについて抵抗がある。地域の人たちになるほどと思う説明を十分にしてほしい。

《回答》【市長】

教育委員会に伝えておきます。

＜後日回答＞【担当部局 教育委員会事務局教育総務課】

小中学校の適正規模化・適正配置は、「近年の少子化の進行により、学校の小規模化及び学級の少人数化が急速に進んできており、子どもたちへの様々な影響が懸念されている中で、子どもたちにとってのより望ましい教育環境の構築と教育の充実」を目的として取り組んでいます。統合場所については、宮川中学校区の3つの小学校はいずれの校舎も津波浸水域外であり、既存の施設を活用していきたいと考えています。教室数の問題、子どもたちの通学面、財政面などを総合的に考慮し、中島小学校跡地の活用を考えています。

佐八小学校が建設されたときの経緯や様子については、今までも資料を見たり話を聞いたりしてきましたが、今後も地域住民の方々の思いを十分に聞かせていただく中で、教育委員会の考え等をご理解いただけるようにご説明をさせていただきたいと考えています。

《質問・意見》

市の人口減少について若い人が出て行くのは働くところが無いためであるので、企業の誘致について市の考えを聞きたい。

《回答》【市長】

市の工業団地は神菌とサンアリーナ横の2箇所あり、神菌はまだ未造成でサンアリーナ横は86%くらいの分譲が終わっています。このあと誘致するにしても団地をどうするかという課題があります。また、神菌の造成には4億円くらいかかります。

三重県が持っている県有地の工業団地としては大仏山とサンアリーナ正面の2箇所があ

り、来年2月に企業誘致セミナーを開いていく予定です。

いずれにしても、よその企業を引っ張ってくるか、地元の産業を元気にするかです。

《質問・意見》

獣害について、獣がダニを引っ張ってくる。南勢地区で、ダニで入院する人が年間4、5人いる。安心してあぜに座れない。切羽詰っている。

獣害対策で猿を撃ったときの猟師への報酬を考えてほしい。

《回答》【産業観光部農林水産課長】

ダニについては、刺されないような服装をする、防虫剤で自己防衛するなどしてほしい。

報酬について、猿は今年1万円から1万5千円に上げさせてもらいましたが、捕獲頭数がなかなか増えていないのが実態ですので、今後も力を入れていきたいと考えています。

《質問・意見》

猿が屋根の上を走ったり納屋に入ってきて作物を持って行ったりする。人にも危害を加えそうである。もう限界を超えている。もっと深刻に考えてほしい。伊勢だけの問題ではないので、県の市長会などの機会があればもっと県や中央に発信、発言してほしい。

《質問・意見》

猿の群れは前山の奥の神宮山に多く、こちらに流れてくる。

《回答》【市長】

分かりました。農作物に対する獣害対策だけでなく、民家に対する獣害対策も必要であることが分かりました。民家への対策は別口として考えたほうが良いかもしれません。県に求めることと我々ができることがあります。住居への対策の視点からも考えます。

伊勢の山林の半分が神宮林で、以前に話をしてから徐々にフェンスをしてもらっていますが、時間はかかると思います。今日の話を受けて、また神宮に行ってきます。

《質問・意見》

動物愛護の問題もあるが、捕まえても殺さずに放していたから増えてきた。銃で撃つ人がいなくなった。このようないろんな問題が増えてきた。

《回答》【市長】

いろんな問題点がありますので、みんなで一緒に考えて、一手でも打てるようにしていきたいと思います。

《質問・意見》

猿に限定して、駆除期間を3か月から1年にできないか検討してほしい。

《回答》【産業観光部農林水産課長】

何か縛りがあるかも分かりませんので、調べさせていただいて、長くできるものならしたいと思います。

《質問・意見》

鉄砲で撃つのは抵抗があるかもしれないが、檻で捕獲するなどの駆除する方法があると思うので、考えを聞きたい。

《回答》【産業観光部農林水産課長】

今年から追い払うよりも捕獲する方向にシフトして、現在実験段階ですが、この教室の4分の1ぐらいの大きさの檻を買いました。この佐八地区ではありませんが、それを使って、餌付けをした後に10匹くらいまとめて捕獲できるか試しています。それがうまくいったら、他の地区へも広げていきたい。

《意見》

今まで年1回だったのが年2回、子を産むようになってきた。数を増やさない方法なども調べてもらって、今後こういう機会があれば報告してほしい。また、佐八の保育園にも入ってきたと聞いたのでしっかりと対策を行ってほしい。

《質問・意見》

市民病院の充実について聞きたい。

《回答》【市長】

一番の課題は医者に来てもらうことです。平成16、17年の全国の公立病院の改革の波を受けて、ピーク時に60人くらいいた医者が40人弱まで減りました。理由を調査して改革し、現在は毎年若い医師が5名ほど入ってきています。また、奨学金制度により若い研修医に来てもらったり、三重大学との連携を強化していく取組を行っています。